

第8 企業会計決算の状況

県が独立採算性を原則とする企業的色彩の強い事業を行う際に、法律や条例によって設置するもので、地方公営企業法の全部又は一部の適用を受ける公営企業の会計をいいます。

企業会計は、公共の福祉を目的とするとともに、企業の経済性を発揮することも求められており、その経理については、地方公営企業法の定めるところによります。

この会計方式は、一般のいわゆる官公庁会計が現金主義により経理されるのに対し、発生主義に基づく複式簿記により経理される点で大きく異なっています。

三重県では、公共の福祉を増進するため、水道事業、工業用水道事業、電気事業及び病院事業の4事業の経営を行っていますので、以下、それぞれの企業会計ごとに、その決算状況を説明します。

1 水道事業の概況

営業関係では、南勢志摩水道用水供給事業（給水能力138,150 m^3 /日）及び北中勢水道用水供給事業（北勢系木曾川水系：給水能力80,300 m^3 /日、北勢系三重用水系：給水能力51,000 m^3 /日、北勢系長良川水系：給水能力18,000 m^3 /日、中勢系雲出川水系：給水能力81,416 m^3 /日、中勢系長良川水系：給水能力58,800 m^3 /日）の2事業を運営し、平成25年度は県内17市町に対し、延べ76,455,341 m^3 の給水を行いました。

平成25年度の営業成績について、事業収益は9,682,901千円（対前年度比99.7%）で、内訳は、営業収益9,450,283千円（対前年度比100.1%）及び営業外収益232,618千円（対前年度比85.9%）であり、また、事業費用は8,254,192千円（対前年度比100.2%）で、内訳は、営業費用7,282,464千円（対前年度比102.6%）及び営業外費用971,729千円（対前年度比85.2%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額1,428,708千円が当年度の純利益となりました。

また、改良事業については、水道用水の安定した供給を図るため、施設の耐震化や老朽劣化対策を実施しました。

一方、建設事業は、平成27年4月から大台町への給水（1,700 m^3 /日）を目指して、南勢水道拡張事業（総事業費721,025千円）を実施しています。

平成 25 年度損益計算書 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	7,282,464	営業収益	9,450,283
原水及び浄水費	2,453,405	給水収益	9,446,800
配水費	490,874	その他営業収益	3,483
業務費	353,310		
総係費	427,226		
減価償却費	3,477,166		
資産減耗費	80,483		
営業外費用	971,729	営業外収益	232,618
支払利息	872,179	受取利息	18,255
受託工事費	98,996	他会計補助金	93,033
雑支出	553	補助金	18,489
		受託工事収益	98,996
		雑収益	3,845
当年度費用合計	8,254,192		
当年度純利益	1,428,708		
合 計	9,682,901	合 計	9,682,901

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

平成25年度損益計算書<P/L> (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位：千円、% (構成比))

借 方	貸 方
<p>営業費用 7,282,464 (75.2%)</p>	<p>営業収益 9,450,283 (97.6%)</p>
<p>営業外費用 971,729 (10.0%)</p>	
<p>当年度純利益 1,428,708 (14.8%)</p>	<p>営業外収益 232,618 (2.4%)</p>

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

貸借対照表<B/S> (平成26年3月31日現在)

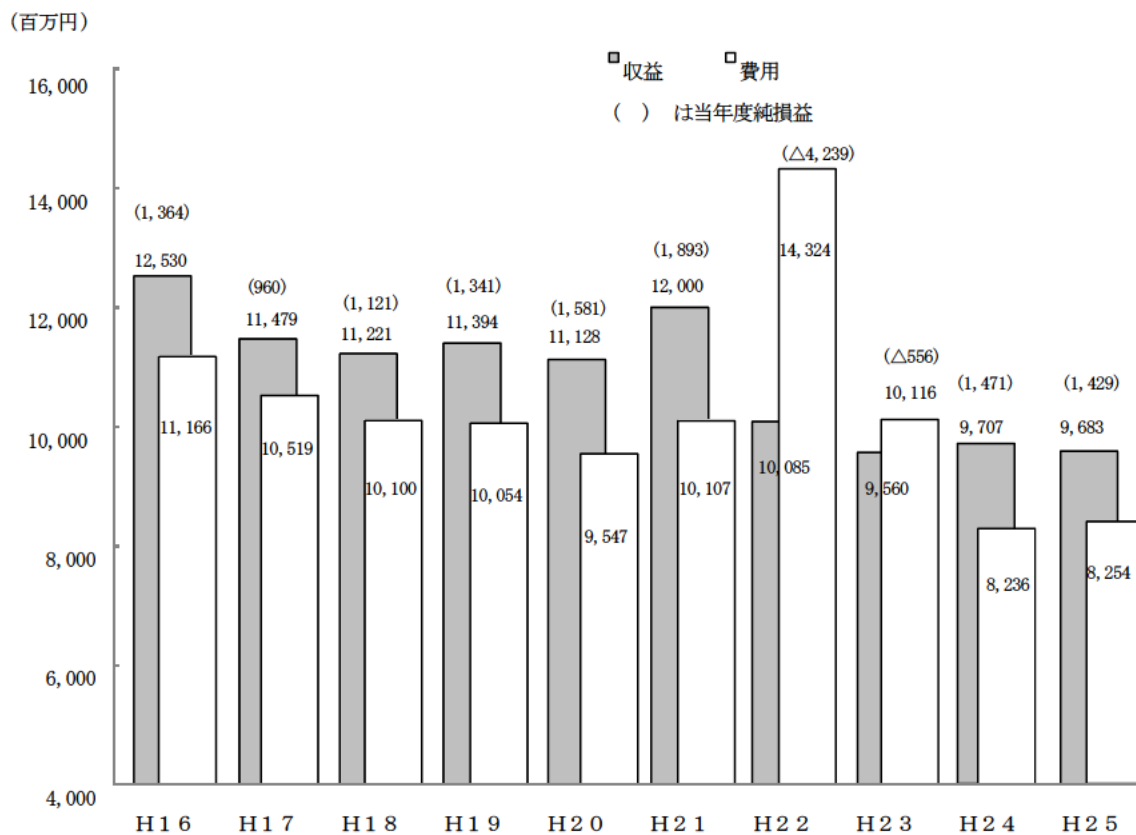
(単位：千円、%(構成比))

借方	貸方
固定資産 149,567,397 (90.1%)	固定負債 6,345,540 (3.8%)
	資本金 112,698,822 (67.9%)
流動資産 16,492,184 (9.9%)	剰余金 45,966,356 (27.7%)
	資本剰余金 44,564,779 利益剰余金 1,401,576

流動負債
1,048,864 (0.6%)

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため、差引が合わない場合があります。)

2 工業用水道事業の概況

営業関係では、北伊勢工業用水道事業（契約水量 724,860 m³/日）、多度工業用水道事業（契約水量 10,000 m³/日）、中伊勢工業用水道事業（契約水量 17,810 m³/日）、松阪工業用水道事業（契約水量 38,500 m³/日）の4事業を運営し、県内企業の生産活動における水需要に応えるため、平成25年度においては108工場に対し、延べ211,838,929 m³の工業用水を供給しました。

平成25年度の営業成績について、事業収益は5,626,263千円（対前年度比94.2%）で、内訳は、営業収益5,601,620千円（対前年度比94.2%）及び営業外収益24,642千円（対前年度比91.4%）であり、また、事業費用は4,923,025千円（対前年度比100.1%）で、内訳は、営業費用4,530,245千円（対前年度比101.4%）、営業外費用392,780千円（対前年度比90.8%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額703,237千円が当年度の純利益となりました。

一方、改良事業については、地震等の災害に備えるとともに工業用水の安定給水を図るため、北伊勢工業用水道等の老朽劣化施設の更新・補強工事など施設改良を計画的に実施しました。

平成25年度損益計算書（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	4,530,245	営業収益	5,601,620
原水及び浄水費	1,489,032	給水収益	5,154,758
配水費	196,052	その他営業収益	446,862
業務費	311,622		
総係費	352,789		
減価償却費	2,087,121		
資産減耗費	93,629		
営業外費用	392,780	営業外収益	24,642
支払利息	391,240	受取利息	15,281
受託工事費	934	他会計補助金	3,810
雑支出	607	受託工事収益	934
		雑収益	4,617
当年度費用合計	4,923,025		
当年度純利益	703,237		
合 計	5,626,263	合 計	5,626,263

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

平成25年度損益計算書<P/L> (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位：千円、%(構成比))

借方	貸方
営業費用 4,530,245 (80.5%)	営業収益 5,601,620 (99.6%)
営業外費用 392,780 (7.0%)	営業外収益 24,642 (0.4%)
当年度純利益 703,237 (12.5%)	

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

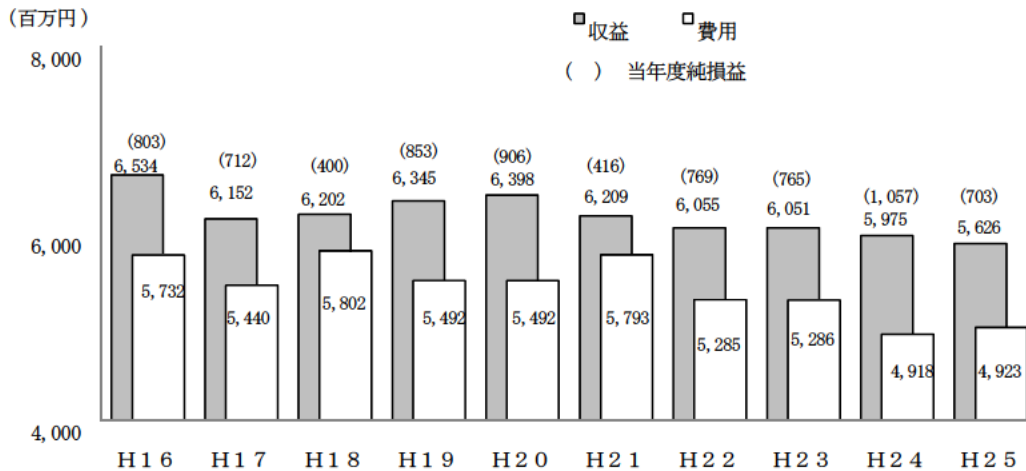
貸借対照表<B/S> (平成26年3月31日現在)

(単位：千円、%(構成比))

借方	貸方
固定資産 121,730,380 (90.3%)	固定負債 6,639,790 (4.9%)
	流動負債 825,222 (0.6%)
	資本金 85,040,942 (63.0%)
流動資産 13,086,448 (9.7%)	剰余金 42,310,875 (31.4%)
	資本剰余金 41,607,637
	利益剰余金 703,237

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため、差引が合わない場合があります。)

3 電気事業の概況

営業関係では、水力発電事業については、4月から5月及び7月から8月にかけて降雨量が少なかったことから、発電量は目標電力量 246,472,000kWh に対し、供給電力量 185,521,709kWh (75.3%) にとどまりました。

R D F 焼却・発電事業については、三重ごみ固形燃料発電所において、製造団体から R D F 48,808 トンを受け入れ、67,725,200 kWh の発電を行いました。

平成 25 年度の営業成績について、事業収益は 3,953,141 千円 (対前年度比 105.9%) で、内訳は、営業収益 2,587,890 千円 (対前年度比 95.7%)、附帯事業収益 1,355,182 千円 (対前年度比 137.0%) 及び営業外収益 10,069 千円 (対前年度比 24.9%) であり、事業費用は 3,720,076 千円 (対前年度比 104.0%) で、内訳は、営業費用 2,407,509 千円 (対前年度比 97.4%)、附帯事業費用 1,212,382 千円 (対前年度比 124.4%) 及び営業外費用 100,185 千円 (対前年度比 77.7%) です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額 233,065 千円が当年度の純利益となりました。

また、「青蓮寺発電所および比奈知発電所に係る資産等の譲渡・譲受に関する契約書」に基づき、平成 25 年 4 月 1 日に、青蓮寺発電所及び比奈知発電所の 2 発電所を中部電力株式会社に譲渡しました。

平成25年度損益計算書（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	2,407,509	営業収益	2,587,890
宮川第一水力発電費	193,293	電力料	2,587,041
宮川第二水力発電費	311,789	その他営業収益	849
宮川第三水力発電費	93,758		
長水力発電費	71,693		
三瀬谷水力発電費	678,252		
大杉貯水池費	335,850		
大和谷水力発電費	157,629		
蓮水力発電費	74,433		
青田水力発電費	157,353		
一般管理費	333,460		
附帯事業費用	1,212,382	附帯事業収益	1,355,182
RDF発電費	1,212,382	電力料	958,348
		その他附帯事業収益	396,834
営業外費用	100,185	営業外収益	10,069
支払利息	98,209	受取利息	4,250
雑支出	1,977	他会計補助金	3,735
		雑収益	2,084
費用合計	3,720,076		
当年度純利益	233,065		
合 計	3,953,141	合 計	3,953,141

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

平成25年度損益計算書<P/L>（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（単位：千円、%（構成比））

	借 方	貸 方	
	営業費用 2,407,509 (60.9%)	営業収益 2,587,890 (65.4%)	
営業外費用 100,185 (2.5%)	附帯事業費用 1,212,382 (30.7%)	附帯事業収益 1,355,182 (34.2%)	営業外収益 10,069 (0.4%)
当年度純利益 233,065 (5.9%)			

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

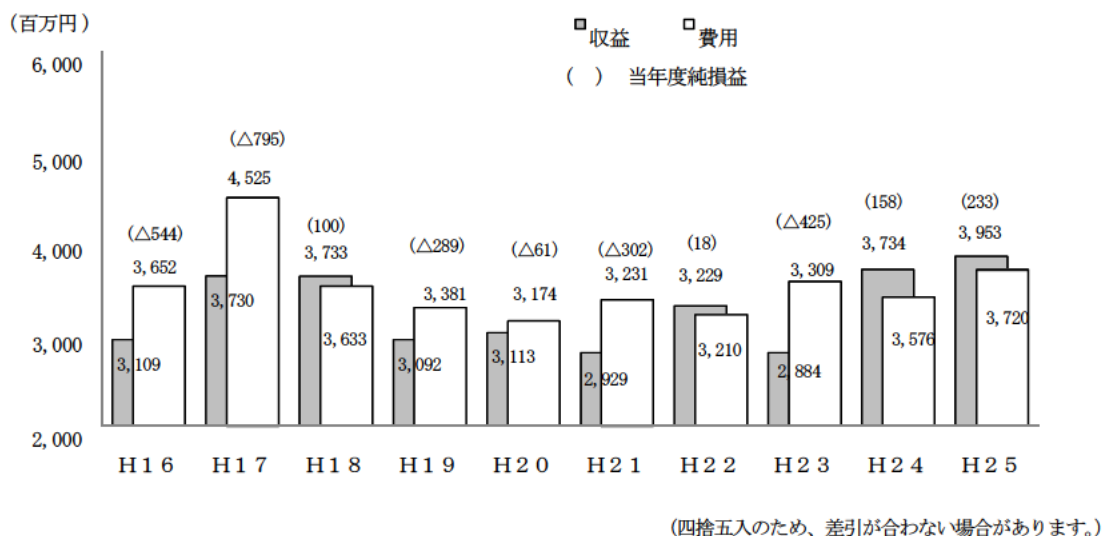
貸借対照表<B/S> (平成 26 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円、%(構成比))

借 方	貸 方
	固定負債 296,057 (1.8%)
	流動負債 683,910 (4.2%)
固定資産 12,932,809 (78.9%)	資本金 14,716,429 (89.8%)
流動資産 3,454,867 (21.1%)	剰余金 691,280 (4.2%) 資本剰余金 2,931,992 欠損金 2,240,711

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



4 病院事業の概況

三重県病院事業においては、こころの医療センター、一志病院及び指定管理者制度を導入した志摩病院の3病院を管理運営し、県民の皆さんや地域に信頼され、かつ医療従事者にとって魅力ある病院づくりを進めながら、良質で満足度の高い医療サービスの実践に努めているところです。

平成25年度の病院事業は、「三重県病院事業 中期経営計画（平成25年度～平成27年度）」の「年度計画」に基づき、こころの医療センターにおいては、精神科医療の中核病院としての取組など、一志病院においては、家庭医を中心とした地域医療の取組など、それぞれの役割やニーズに応じた病院運営を実施するとともに、経営の健全化に向けて取り組んできました。また、志摩病院については、指定管理者である公益社団法人地域医療振興協会により、診療体制の段階的な回復を図りつつ、運営を行ってきました。

3病院の患者数については、入院患者数が延べ196,115人（1日平均537.3人）、外来患者数が延べ157,453人（1日平均645.3人）で、前年度に比べ入院患者数は延べ6,909人の減少、外来患者数は延べ2,897人の増加となりました。

収益については、こころの医療センターにおいて患者数が減少したため、医業収益が4.9%減少したことや、一般会計からの繰入金額の減額に伴い医業外収益が4.5%減少したことなどにより、経常収益は5,439,020,049円となり、前年度に比べ4.7%減少しました。

また、費用についても、主に給与費、経費等の減額に伴い医業費用が減少したことから、経常費用は5,540,146,139円となり、前年度に比べ4.5%減少しました。

その結果、これらを差し引きした経常損益は、101,126,090円の赤字となりました。なお、特別損失として退職給与引当金117,675,000円を計上した結果、純損益は、218,801,090円の赤字となりました。これにより、累積欠損金は9,466,276,567円となっています。

なお、施設及び設備の整備については、こころの医療センターの外来棟増改築工事や、一志病院の汚水処理施設改修工事、志摩病院のボイラー更新工事等により総額384,404,959円を執行しました。

平成 25 年度損益計算書（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
医業費用	5,271,822	医業収益	2,740,750
給与費	2,592,211	入院収益	2,129,748
材料費	270,824	外来収益	516,751
経費	1,752,607	その他医業収益	94,251
減価償却費	638,116		
資産減耗費	6,414	医業外収益	2,698,270
研究研修費	11,649	受取利息配当金	1,847
医業外費用	268,324	他会計補助金	173,232
支払利息及び企業債取扱諸費	168,694	補助金	5,377
繰延勘定償却	41,245	負担金・交付金	2,229,999
患者外給食材料費	988	その他医業外収益	287,815
雑損失	57,397		
特別損失	117,675	特別利益	-
		当年度収益合計	5,439,020
		当年度純損失	218,801
合 計	5,657,821	合 計	5,657,821

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

損益計算書＜P/L＞（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

（単位：千円、%（構成比））

借 方		貸 方	
医業費用		医業収益	
5,271,822 (93.2%)		2,740,750 (48.4%)	
		医業外収益	
		2,698,270 (47.7%)	
医業外費用	268,324 (4.7%)		
特別損失	117,675 (2.1%)	当年度純損失	218,801 (3.9%)

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

貸借対照表<B/S> (平成26年3月31日現在)

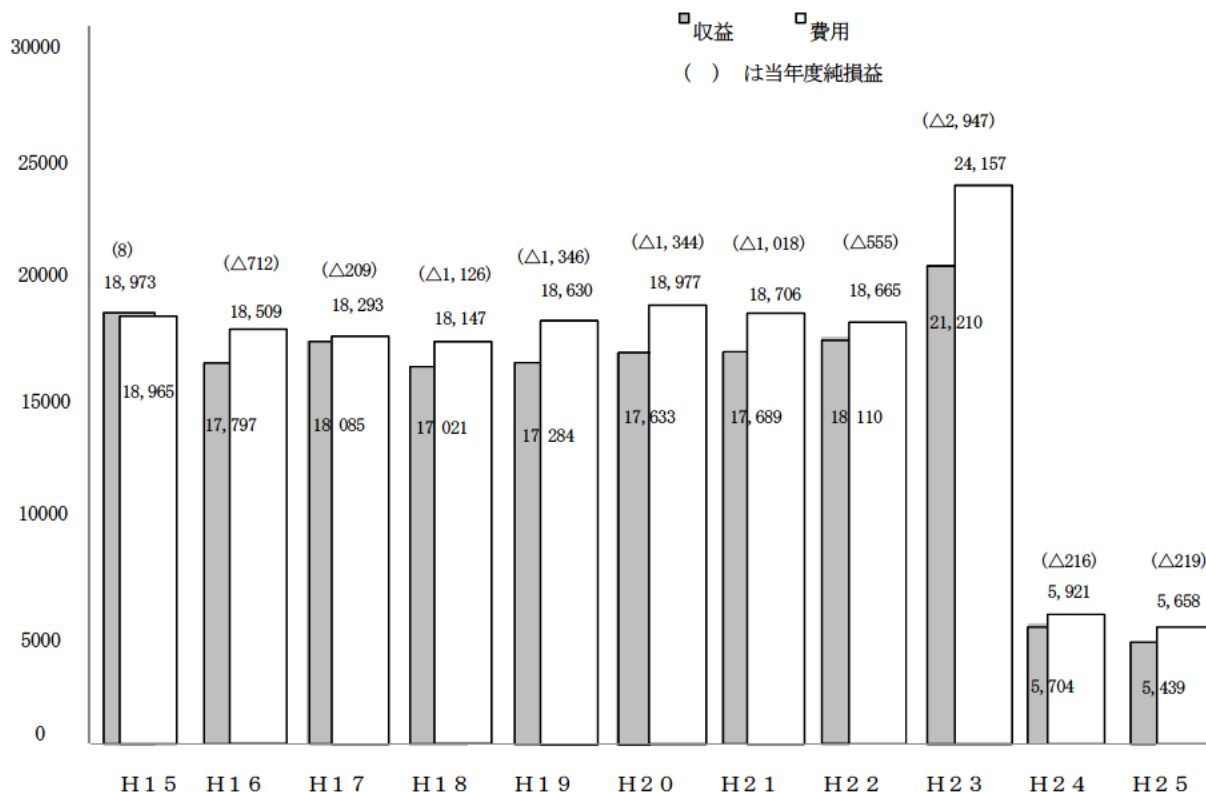
(単位：千円、%(構成比))

資 産	負債・資本
固定資産 11,166,143 (84.3%)	固定負債 5,966,132 (45.1%)
	流動負債 538,645 (4.1%)
	資本金 10,586,011 (80.0%)
流動資産 1,748,605 (13.2%)	剰余金 △3,851,599 (△29.1%)
繰延勘定 324,440 (2.5%)	資本剰余金 5,614,677
	累積欠損金 9,466,277

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移

(百万円)



(四捨五入のため、差引が合わない場合があります。)